



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 尾 崎 敬 則  
幹 事 村 上 泰 啓 会 報 委 員 長 小 原 一 眞

Rotary  Rotary Serving Humanity  
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2294

2016-10-7

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

### 本 日 の 例 会 ) 10月7日(第1例会)

- **表彰**・ホームクラブ連続皆出席  
遠田(10) 山口(710) 山本(英)(10)  
岩永(10) 平瀬(10) 池宮(10)  
各会員
- **お祝**・誕生日  
室谷 中谷(佳) 佐伯 境 杉原  
山本(英) 各会員
- ・結婚記念日  
平瀬 今岡 小林 岡倉 境 杉原  
山口 各会員
- ・入会記念日  
今岡 内藤 西谷 西澤 山下  
山本(智) 各会員
- ・会社創立記念日  
池宮 畑田 室谷 永井 上  
山本(智) 各会員
- **卓話** 「社会奉仕活動の事例紹介 平和を願う  
世代間交流」  
戦後71年、先の戦争体験者が少なくなり、  
記憶が風化する中で平和の大切さを、次世  
代に末永く伝えてゆく活動を紹介  
岡倉三郎社会奉仕委員長

● **理事会** 11:30 ~ 12:10  
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

● **クラブフォーラム(社会奉仕)**  
例会終了後~ 15:30  
シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

### 次 週 の お 知 ら せ ) 10月14日(第2例会)

- **卓話** 孔子の「礼」  
国政や社会の運営など、組織の運営には  
「礼」=組織・法律等が大切である。  
西村五郎会員
- **食膳** 〈中国 円卓料理〉

### 次 々 週 の お 知 ら せ ) 10月21日(第3例会)

- **卓話** 「区分所有権について」  
遠田義昭会員

### 先 週 の 記 録 ) 9月30日(第5例会)

- **出席報告**  
出席会員 38名 (内免除会員 9名)  
会員総数 51名 (同上 16名)  
ゲスト 2名  
ビジター 0名
- 
- 計 40名  
ホームクラブ出席率 86.36%  
9月9日(第2例会) 補正出席率 100% (MU 5名)
- **ゲスト&ビジター(敬称略)**  
安村俊史(卓話者)  
張 淵(米山奨学生)  
チョウ エン

### ◆ 会 長 の 時 間 ◆

前回の(合同)例会は、大雨、暴風そして洪水警報が朝7時に発令されたため、安全を期し、急遽、休会とさせていただきました。そして、関係者で協議を重ねた結果、11月25日、都ホテル大阪で合同例会を開催し、ガバナー公式訪問を受けることになりました。鈴木会員には、当日の卓話をガバナー講話に譲っていただきありがとうございました。ところで、畑田、上、三木の3名のPP、村上幹事そして私の5人で新発田城南ロータリークラブの50周年記念式典に行き参りました。大変、楽しい会で、久しぶりの賑やかな城南会の集いともなりました。これこそ、ロータリーの神髄だと思えます。ここに改めて、全国城南会を作り上げていただいた先達には深く感謝する次第です。なかでも、畑田会員のご苦勞には改めて感謝申し上げます。最後になりましたが、戦略計画委員会を開催し、増強拡大チームを編成したことをご報告します。どうか、チームの皆様はもとより、チーム以外の皆様におかれましても、増強拡大に向けた行動をおとりいただくようよろしくお願い致します。

10月は経済と地域社会の発展月間/米山月間です!!

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

### ◆ 委員会報告 ◆

SAA 小林正啓

本年度のクールビズは、本日を持ちまして、期間が終了となります。次回の例会から、上着、ネクタイの着用をお願いします。

### 卓話

9月30日 <第5例会>

#### 「大和川の付け替え工事」



柏原市立歴史資料館館長  
安村俊史氏

大阪を語るうえで、淀川とともに欠くことのできない大和川。その大和川の柏原から大阪

湾までの部分は、江戸時代の宝永元年(1704)に造られた人工の川である。それまでの大和川は、数本の流れに分かれ、大坂城の北で旧淀川(現在の大川)に流れ込んでいた。2本の大河が合流するうえ、河内平野は起伏が少ないため、旧大和川はしばしば洪水を起こしていた。そこで、旧流域の農民から、大和川の付け替えを求める運動が始まった。

一般には、この付け替え運動が盛り上がり、最後には幕府を動かして付け替えが実現したとされている。しかし、残された史料からみると現実は大大きく異なっている。最後の付け替え嘆願が提出されたのは貞享4年(1687)で、それ以降は治水工事を求める嘆願へと変わっている。しかも、運動に参加する村は、15万石から7万石、3万石と減り、付け替え直前には2万石程度まで減っている。つまり、付け替え運動の内容も規模も縮小するなかで、幕府は付け替えを決定したのである。それはなぜか。

幕府は工事の半分を負担し、残りはいくつかの藩の大名に請け負わせた。その結果、幕府が工事のために負担した費用は37,000両余り。ところが、旧川筋に新田を開発するために支払われた費用が37,000両であった。つまり、幕府は工事費用を新田開発の権利金で回収しているのである。しかも、新田からは年貢があがってくる。幕府にとって、付け替え工事は利益となる工事だった。これが、幕府が付け替え工事を行った理由である。

工事は宝永元年の2月に始まり、10月に完成をみた。工事期間はわずか8か月。詳細な設計・積算のうえで無駄のない工事としたことなどが短期間で工事が終了した理由である。そして、工事に参加した延べ240万人の人々。これらの人々に日当を払って人を集めるという経済システムがすでに大坂にはあったのである。さすが大坂と言えるだろう。



▲ 米山功労者 第2回マルチプル表彰 浅井会員

### にこにこ箱

9月30日(第5例会)

- 前回の合同例会、台風のため休会となりました。今後、このようなことがないように祈る気持ちです。

尾崎会員

- 卓話をお願いした安村氏をお迎えして。
- 9月16日に歓迎会を開いていただき、ありがとうございました。

今岡会員

中辻会員

- 85歳にもなりますと古くて厚手の空手着の持運びが重くなり、薄手の軽いのに買い替えましたが、後輩達から「先輩まだ何年生きるつもりですか」とひやかされました。

杉原会員

- 検診の結果、問題なかった。

岡倉会員

- うかつとしていました。すみません。

村上(泰)会員

- 他、お詫び 2件

9月にこにこ合計 90,683円  
ハット合計 42,900円

(編集担当 池宮・濱田)

会員増強にご協力を!!